

総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会
小委員会の設置について

分科会等名：計算力学小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>計算力学は理論、実験に続く第三の手法としてもものづくり、安全問題などにおいて欠かせないものとなっており、その学術も日々発展している。</p> <p>国際的には、国際計算力学連合（International Association for Computational Mechanics; IACM）がその方面の学術のまとめ役になっており2年ごとの約3000名の学術集会、年に10回を超える専門テーマのシンポジウムなど十分にまとまって機能しているが、我が国においては複数の計算力学関連学会で独自にそれなりの活動をしているとはいえ我が国全体として統一やまとまりがなく非効率な活動、運営体制となっている。そこでこの方面の学会代表者が、今後の国内体制や国際連携、国際貢献のあり方、アジアや世界との連携方策に特化し、議論して将来の在り方を検討する。</p>
4	審議事項	<p>1. 計算力学に関する今後の国内体制や国際連携、国際貢献のあり方</p> <p>2. アジアや世界との連携方策と将来のあり方に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成30年1月25日～平成32年9月30日
6	備考	※事実上23期からの継続